

専門基礎分野
医学検査の基礎と
その疾病との関連

基礎臨床検査学演習

責任者：檜山由香里
学年・学期：第1学年・前期

単位数：1単位(30時間)

◆一般目標(GIO)

生命現象を科学的にとらえ、病気の成り立ちを理解する上で必要な考え方を習得する。臨床検査領域の専門分化の進歩はめざましく、その発展は目をみはるものがある。

しかし、根本の原理や法則といったものは不変のものであり、基礎の学習はその第一歩と言える。項目の「化学」では、実習に必要な溶液の濃度、物質(試薬)の性質や取り扱い、分析学の基礎について学ぶ。

また、後半の項目「人体」ではグループ学習を通じ、将来の卒業研究や学会に対応しうる能力を身に付ける。

◆到達目標(SBOs)

1. 溶液の濃度を理解し説明することができる。
2. モルおよびモル濃度の計算をし、説明できる。
3. 検査関連試薬における濃度調整の計算ができる。
4. 酸・塩基について理解し、生体内での役割、重要性が説明できる。
5. 酸化・還元について理解し、検査で影響する物質について説明できる。
6. 定量的概念と比色法について説明できる。
7. グループのテーマについて十分討議することができる。
8. 決定したグループテーマの動機について説明できる。
9. 発表用原稿(模造紙)を作成できる。
10. グループでまとめた内容をわかりやすく説明し、発表できる。
11. 他のグループ発表の内容について検討できる。
12. 個人でまとめた最終レポートを提出できる。

チェック

--	--

◆学習方法

教科書を中心に授業を行う。必要に応じてプリントを配布する。

また、小グループでテーマを1つ決定し、小グループ討論を中心に自己学習能力を養い、学生が自ら学ぶ意義や楽しさを実感し、まとめ、発表、質疑応答を行う。

◆評価方法

出席、授業態度、テスト、発表内容、レポートなどを総合的に評価する。

◆教科書

『視覚でとらえるフォトサイエンス 生物図録』鈴木 孝仁 著 数研出版

◆参考書

基礎臨床検査学演習

回数	項目	講義内容	担当
1	化学	物質量、溶解度	檜山
2	〃	酸と塩基	〃
3	〃	酸化と還元	〃
4	人体	1)細胞の構造と機能 2)生体内における化学反応 3)遺伝 4)生体内の調節 小グループ(4~5名)につき1テーマを 持ち、それについて学習・まとめ・ 発表・質疑等を行う。	〃
5			〃
6			〃
7			〃
8			〃
9			〃
10			〃
11			〃
12			〃
13			〃
14			〃
15	まとめ	発表	〃